

お知らせ「体育室常設が変更となります。」

変更前：A面卓球台 B面卓球台 C面バドミントン→変更後 A面卓球 B面バドミントン C面常設無

体育室におきましてはこれまで（A面に卓球台5台 B面に卓球台5台 C面にバドミントンネット）が常設されておりました。しかしながら卓球と他団体を比較した場合に「活動の準備と後片付けの負荷」に差が有り過ぎる、つまり＝卓球以外の団体がA面B面を利用する場合「卓球台を撤去倉庫収納した後に自団体の設営・撤去さらに卓球台の原状回復」を行わなければならない。それに比して卓球団体の場合「ほぼ卓球台が設営された状態で活動を開始して撤去も不要となっている」という現状に端を発しまして体育室における他の諸問題に関しましても改善すべく常設の見直しを図ることと致しました。

具体的には 現状→A面卓球台5台 B面卓球台5台 C面バドミントンネット

改善→A面卓球台5台 B面バドミントンネット C面（何も常設しない）といたします。

（※自主事業の都合により変動する場合がございます。）

このことによって以下の点が改善されます。

- ①卓球台の常設台数が減ることにより、卓球以外の団体が卓球台の撤去設営に要する負荷が軽減します
- ②ポールネットを使用する団体のエン트리傾向をC面以外にも分散することができます。
- ③各団体の要望に極力沿う形での空調（夏期冷房）対応が可能となります。
 - ・最も風の影響を受けづらいB面をバドミントンとしています。
 - ・例えばA面卓球 BC面バドミントンとなったとしてもA面は冷房空調を稼働させることができます。空調が入らない中での活動を余儀なくされていたケースをほぼ解消できる可能性が高くなります。
- ④C面を常設無とすることで特に設備を必要としない団体の利用勝手が良くなります。
- ⑤同じくC面を常設無とすることで個人利用の競技種類を均等にすることができます。
 - ・従来（卓球 43 コマ バドミントン 43 コマ バスケット 14 コマ/30分単位一週間当たり・概算値）バスケットのコマ数が極端に少なくかつ小学生だけの利用ができませんでした。この状況を解消することができます。

その一方で以下の点をご留意いただくこととなります。

- ①卓球団体がB面を利用する場合はバドミントンを撤去原状回復をすることとなります。（これは旧来から他のサークルさんも行っていたことです）
- ②個人利用の卓球台が5台減ります。（初回抽選で外れた場合には次回順番をお待ち下さい。）

以上改善点とご留意点を比較いたしましても圧倒的に改善効果の方が大きくそれを実現すべきとの判断に至りました。卓球ご利用者におかれましては旧来よりご不便となる点もありますが何卒ご海容賜りまして今後ご利用いただきたいと存じます。

※卓球台はA面B面のみにご利用いただけますことは従来と変わりません。

※4月からの運用開始となります。2月1日～10日のエン特里ー期間からご留意下さい。

不特定多数の方が利用される施設です。できるだけ皆様にとって公平にかつ使い勝手が良い運営状態についてご意見を賜り熟慮を経て今回の変更の決断となりました。何卒ご理解賜りまして今後ともご愛顧賜れますようお願い申し上げます。

若草台地区センター館長